

ご挨拶

令和5年度、八王子市立梶田中学校第14代校長として任命されました 関山 一樹(せきやま かずき)です。これまで築き上げてきた梶田中の理念を引き継ぎつつ、生徒の主体的な取組を大切に、学校運営協議会を中心に、地域や保護者の皆様の御協力をいただきながら、生徒の成長を見守っていきたいと思います。

本校は、八王子市南部に位置し、開校以来48年の歴史ある中学校です。隣接地域には、美しい緑の里山と清冽な湯殿川が流れる自然豊かな地にあります。梶田の里は遠く縄文時代の昔から、数千年にわたり、自然と共生しながら人々が暮らしてきた土地です。学校に対する地域の期待は大きく、令和7年度は、191名の新入生を迎え、順調なスタートを切ることができました。市内でも有数の大規模中学校として、その特色を生かし、発揮される大きなパワーをひとつにまとめ上げて、前進してまいりたいと思います。未来を担う子どもたちの健全育成と、予測困難な時代にも対応できる力の育成を目指して、梶田中学校の教育活動を全教職員が一丸となって進めてまいります。保護者・地域の皆様には、これまでと変わらぬ御支援・御協力をお願い申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

様々な教育課題がありますが、令和7年度は次の6点を重点課題として、取り組んでまいります。

① いじめ対策の推進

八王子市教育委員会の方針に基づき、本校においても「学校いじめ対策委員会」を中心に、組織的な対策の強化を通して、「未然防止」「早期発見」「早期対応」に努めてまいります。

② 教育のICT化

ICT機器の効果的な活用について精査するとともに、日々の授業等での活用を通して、自己肯定感、自己有用感を育み、学習意欲の向上に努めます。

③ 学力向上

学びの基礎となる読書活動を充実させるとともに、中学校の最も基本となる学習指導の改善に日々努めて、学力の向上を目指します。

④ 不登校対応

学校不適應や不登校に対しては、関係機関と連携を図りながら丁寧な個別指導を心がけていきます。

⑤ 特別支援教育の充実

特別支援教室拠点校の特色を活かし、通常学級との連携を図ることで、配慮が必要な生徒を支援していくための環境づくりに努めます。

⑥ ウェルビーイングの醸成

生徒の実情や地域、保護者のニーズを大切にしながら、ウェルビーイングの向上に努め、新しい組織体制や行事の構築に取り組みます。また、連携小学校とは児童と生徒が触れ合う機会を大切にします。

令和7年4月8日

八王子市立梶田中学校長 関山 一樹